

O's News

2022

7



痛み止めが離せない頭痛は片頭痛かもしれません

片頭痛の治療、ただいま進化中！

脳神経外科部長 河田 幸波

片頭痛は拍動性の強い頭痛で、**図1**に書いたような特徴があり、診断がつかないまま「鎮痛薬飲み過ぎ頭痛」になっている方も散見されます。幼稚園の頃から始まる方もあり、小児期に嘔吐や腹痛を繰り返していた方が、後に片頭痛を発症することもしばしばあります。

片頭痛は、何らかの刺激によって血管に分布する三叉神経からカルシトニン遺伝子関連ペプチド(CGRP)などの神経伝達物質が放出され、血管拡張や血管壁の炎症性変化が起こるために生じると言われています。

片頭痛の治療は、2000年から漸次発売されたトリプタン製剤により前進しました。これは神経伝達物質のセロトニン(5-HT)の振りをして、脳血管や三叉神経に存在する5-HT受容体のスイッチを入れる薬です。

スイッチが入るとCGRPの放出が止まり、血管や神経の様々な変化が正常な元の状態に戻っていくという画期的な薬でした。しかしながら半減期が短いため、頭痛が始まるとすぐに内服する必要があり、食道や首、胸の筋収縮による独特の不快感(トリプタン感覚)がありました。また血管収縮作用のため、モヤモヤ病や狭心症など動脈狭窄がある方に使用できませんでした。

しかしながら2021年にCGRP関連予防薬と呼ばれる注射薬が2種類(3剤)発売されました。予防薬となっていますが、正しくは「片頭痛が起きた時の衝撃を最小限にする薬」です。発作回数が多い方に使用できます。

1種類目は抗CGRPモノクローナル抗体で、CGRPに結合して無力化します。2種類目は抗CGRP受容体モノクローナル抗体で、CGRPが結合するところ(=受容体)を塞ぎ続け、CGRPが働けないようにします。いずれも効果は1ヶ月持続し、副作用は少ないのですが、非常に高価です。

そして2022年6月には発作時に飲む新薬が発売になりました。トリプタン製剤と同様に5-HT受容体のスイッチを入れますが、血管収縮作用がなく、内服が少し遅れても有効で、期待されています。

最後に予防について、片頭痛は日曜日頭痛とも言われ、張り詰めていた気持ちが緩んだときに生じることがあります。赤ワイン、チーズ、ハムなど血管作用物質を含む食品で誘発されることがあります。肩こり頭痛(緊張型頭痛)もあると、片頭痛が加わったことに気がつくのが遅れ、内服のタイミングを逃すこともあります。肩こり対策は大切です。

痛みの性状

- *ズキンズキンと脈打つような
- *4~72時間つづく
- *片側性(両側性のことも)
- *子供では腹痛になることも
- *体を動かすと痛みが増す
- *遊ぶより、じっとしていたい

以下のような前兆があることも

- *閃輝暗点(せんきあんてん)
- *閃輝暗点(せんきあんてん)
- *手がしびれる
- *手がしびれる
- *光がチカチカ見える
- *肩や首が張ってくる
- *視野の一部が欠ける
- *しゃべりにくい
- *ギザギザしたものが見える
- *めまい

以下のような症状を伴うことも

- *光過敏(光が気になる)
- *音過敏(音が気になる)
- *匂い過敏(匂いが気になる)
- *悪心、嘔吐

痛みの周期・頻度

- *週2回~月1回程度
- *年に1~2回のことも



図1 片頭痛の症状や特徴

新入職医師の紹介



脳神経外科(非常勤)

佐藤 徹(さとう てつ)

所属診療科:脳神経外科

趣味:鉄道旅行、野球観戦

出身地	福岡県
専門分野	脳血管内治療
認定資格	脳神経外科専門医 脳卒中専門医 脳神経血管内治療指導医・専門医
所属学会	日本脳神経外科学会学術評議員 日本脳卒中学会 日本脳神経血管内治療学会

患者さまへの一言

一例一例、わかりやすい説明と適切な診断で患者さんの満足が得られるよう心がけています。

手術室での主役は患者さん

手術室看護師 蓼田 マリン

私たちは手術室で日々患者さんに看護を提供させて頂いています。

皆さんは手術室に対してどのようなイメージがありますか？

怖い、不安、冷たい等あまりプラスなイメージは浮かばないかと思います。

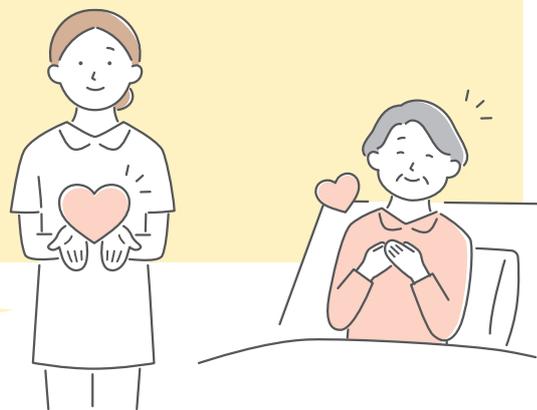
私は看護師として2年目と経験はまだまだ未熟ですが、手術を受ける患者さんと関わる中で手術室での看護を学び実践しています。

手術室では患者さんとコミュニケーションをとる時間が少なく、その短い時間の中で患者さんの不安、混乱、苦痛を少しでも和らげることができるよう、事前に患者さんの病室を訪問してお話を聞いたり、手術室では不安があれば手を握ったり、局所麻酔下における手術では患者さんのリクエストに合わせた音楽をかけることもできます。

手術室に入ると緊張が増し、帽子とマスクで表情もわかりづらく、話しかけにくいかもしれませんが、マスクの下は笑顔です。

手術室での主役は患者さんなので、些細な事でも気になる事は何でもお気軽にお尋ねください。

患者さんにとって少しでも安心して手術が受けられるように看護を頑張っていきます。



二十四節気と七十二候のお話

ガーデンQoo 秋吉 美穂子



7月(文月) ふみづき 「稲の穂が実る頃である」という意味の「穂含月(ほふみ月)」が転じて「文月」になったとも言われています。

十節気
夏至

7/2~6(第三十候) **半夏生** / はんげしょうず

涼しげな葉草「半夏生」。葉の半分が白く化粧をしているように見えることから。みかん科の木に卵を産む「あげは蝶」。鮮やかな緑色の幼虫がさなぎになり、黒と黄色の美しい模様の蝶に成長してゆく様は、いつの時代も子供達の人気者ですね。



十一節気
小暑

7/7~11(第三十一候) **温風至** / あつかぜいたる

日に日に蒸し暑くなってくる頃。季節の花「朝顔」は、奈良時代、葉草(下剤)として渡来し、漢名を「牽牛花」。牛を牽いていって、朝顔と交換する程、貴重な葉草だったといひます。観賞用に楽しめるようになり一大ブームになったのは江戸時代です。



7/12~16(第三十二候) **蓮始開** / はすはじめてひらく

蓮の花は夜明けと共に咲き、昼過ぎには窄むサイクルを3日くり返します。はかなく美しい蓮の花ですが、生命力はとても旺盛で、2千年以上地中に眠っていた種より発芽した「古代蓮」。埼玉県行田市で今年も咲いています。



7/17~22(第三十三候) **鷹乃学習** / たかすなわちわざをならう

「鷹」はタカ目とハヤブサ目の総称。幼い鷹が巣立ちに備え飛び練習をくり返す頃。この頃になると、ツバメの巣は巣立ちを終え寂し気からっぽになりますね。さてツバメの親子はどこへ? 秋に日本を去るまでの間、ヨシの生えた河川敷で「集団」でねぐらを作り、エサを食べ渡りの準備をしています。

「いよいよ夏本番」。親しい方の顔を思い浮かべ「暑中見舞い」はいかがでしょう。

十二節気
大暑

7/23~27(第三十四候) **桐始結花** / きりはじめてはなをむすぶ

淡い紫色の桐の花が実を結ぶ時期です。夏の薬味として欠かせないみょうが(茗荷)。野菜として食用にしているのは日本のみ。刻んでかつお節としょう油で♪なすと一緒に煮物に♪夏は大活躍です。解毒効果もあり夏バテに効きます。



7/28~8/1(第三十五候) **土潤溽暑** / つちうるおうてむしあつし

じつりと暑く、土が湿り気を帯び、夏到来です。人気のブルーベリー、その名もブルー色(Blue)の实(Berry)だからブルーベリー♪6~8月が収穫期です。目の疲労をやわらげ視力低下を防ぐ「アントシアニン」を多く含むことが知られています。表面に「ブルーム」と呼ばれる白い粉におおわれています。



「暑さをうち払う」という意味の「暑氣払い」。上手に取り入れ、夏を元気に♪

観葉植物「サンセベリア」

原産地 南アフリカ、マダガスカル、アラビア
多年草 リュウゼツラン科

マイナスイオンを出す観葉植物として人気が高く、育てやすいサンセベリア。また、空気中のホルムアルデヒド、クロロホルムなどを吸収、分解する空気清浄効果も♪トラのシッポのように見える「サンセベリア・ローレンティ」は「トラノオ」とも呼ばれます。和名は「千歳蘭」、花言葉は「永久・不滅」。縁起のよい名前から、引越し祝い、開店祝いなどに喜ばれます。日あたりのよい窓辺で乾燥気味に。ふえすぎた株は適当に分け、日陰で半日程乾燥させ水はけのよい土に植えましょう。



外来担当医表

〈血〉血管内治療 〈顔〉顔面の痛み・けいれん 〈FUS〉集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	茶谷	河田
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	茶谷	河田
2診	午前	高橋〈顔〉	砂田	角田	富士井	担当医〈血〉
	午後	高橋〈血〉	脊椎・脊髄外来 山本	角田	—	脊椎・脊髄外来 山本
3診	午前	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	細川
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6診	午前	—	脳神経内科 小坂田	脳神経内科 赤谷	脳神経内科 小坂田 第4週 てんかん 田村	第1・3週 脳神経内科 阿部
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脳神経内科 小坂田〈FUS〉	脊椎・脊髄外来 山本	第1・3週 脳神経内科 森原 第4週 てんかん 田村	第1・3週 脳神経内科 阿部

※診察受付時間:月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30

※毎週金曜日13:00～7診 麻酔科 鈴木

(2022.7)

※第1・3週金曜日9:30～12:30、13:30～16:30 6診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.58

やすお脳神経外科 クリニック

院長:安尾 健作

【認定資格・所属学会】日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経外科コンgres、日本脳神経外科認知症学会、日本脳ドック学会

【診療科目】脳神経外科 神経科(神経内科)

【住 所】明石市小久保2丁目10-1

【電 話】078-925-7171

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/
16:00～19:00	○	○	○	/	○	/	/

休診日:木曜・土曜午後、日曜、祝日



安尾院長からのメッセージ

医師になり30年。頭痛、めまい、しびれ、物忘れなど脳の病気が心配な方はご相談ください。CT・MRI検査もできます。

No.102

ふじた脳神経内科

院長:藤田 賢吾

【認定資格・所属学会】医学博士、日本内科学会認定医、日本神経学会神経内科専門医、日本臨床神経生理学会認定医

【診療科目】脳神経内科、内科

【住 所】明石市大久保町西島440-1

【電 話】078-946-0050

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～13:00 (受付終了12:30)	○	○	○	/	○	○	/
15:00～18:00 (受付終了17:30)	○	○	○	/	○	/	/

休診日:木曜、土曜午後、日曜、祝日



藤田院長からのメッセージ

当院では、頭痛、物忘れ、しびれ、ふるえ、めまいなど、脳神経領域における内科疾患を扱っております。

病気のことだけでなく、福祉のことなどもお気軽にご相談ください。



公式LINE

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp http://www.onc.akashi.hyogo.jp/

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:理事長 大西 英之 編集責任者:院長 久我 純弘



ホームページ